

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

(3) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、立替金及び仮受金を含める。

なお、当期末残高は、2.に記載のとおりである。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
投資有価証券	686,660,000	0	0	686,660,000
小 計	886,660,000	0	0	886,660,000
特定資産				
普通預金(奨学金基金)	26,000,000	0	0	26,000,000
奨学金準備積立資産	0	6,000,000	0	6,000,000
小 計	26,000,000	6,000,000	0	32,000,000
合 計	912,660,000	6,000,000	0	918,660,000

3. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常外収益への振替額	
基本財産受取配当計上による振替	25,020,000
合 計	25,020,000